

景観資源の名称:

かんぎいんしょうでんどう

歓喜院聖天堂

所在地: 熊谷市 妻沼

建築物

紹介文:

平安時代末期に斎藤別当実盛が大聖歓喜天(だいしょうかんぎてん)をまつたのが始まりと伝えられる聖天堂は、宝暦10年(1760)に完成した江戸時代中期を代表する彫刻建築です。奥殿を中心として精巧な彫刻が壁面や各部材を埋め、置上彩色(おきあげさいしき)という高度な技法を用いながら極彩色の彩色が施されていました。棟梁は妻沼の林兵庫正清(はやしひょうごまさきよ)とその子正信で幕府や大名、豪商の援助を受けた記録は残されていないため、庶民の力によって再建されたと考えられています。



提供: (財)文化財建造物保存技術協会



提供: (財)文化財建造物保存技術協会

アクセス 熊谷 駅よりバス にて 25 分 /

紹介文献

関連URL: <http://www.ksky.ne.jp/~shouden/index.html>

表彰・文化財情報

【彩の国景観賞】

受賞歴 無し 受賞年度 年度

【市町村景観賞】

賞名 受賞年度 年度

その他表彰等

景観法指定状況

【文化財】

指定文化財 国指定

登録文化財 無し

資源情報

所有者属性 法人

所有者名 宗教法人歓喜院

設計者 林兵庫正清

施工者 林兵庫正清・林正信

時代区分 江戸 竣工年(西暦) 1760 年

訪問・見学対応 敷地外から望見可能 建築物内部の見学可能 有料
 敷地内の見学可能 要予約・問い合わせ 非公開

※該当するものに×が表示されます。

(訪問見学注釈)

データ
入力者
情報

入力担当市町村名

熊谷市

入力担当部所名

都市整備部都市計画課

最終更新年月日

2013.8.6

情報初期登録年月日

2007.3.23